

【事務事業調査】

事務事業名	青少年対象自然・体験活動支援事業費		予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				001-100401-005-01-01-0
担当部課	生涯学習課	担当	社会教育	事業の分類
		サブリーダー	手塚昌人	

事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	カヌー教室や山登り教室、親子どろんこ道場(農業体験・食育)、ワンパクキッズ、土屋はかせ塾、野外研修などの事業を実施する。また、町子ども会育成会連絡協議会や児童館、エコハウス、熱気球ふれあい実行委員会、なまず会、北小親父の会などへの支援(講師やボランティアのコーディネート、物品の貸し出し、情報収集や発信)をする。	自然にふれ、体験することにより、心身両面から明るく心豊かで健康な青少年の育成ができる。また、屋外で活動することにより、多くの人々と接する機会を通して人材の育成ができる。さらに、親や地域の人も参加することで、「親としての力」を向上につながっていく。
実績	カヌー教室(那珂川源流探検キャンプを含む)6回、山登り教室5回、親子どろんこ道場(農業体験・食育)11回、土屋はかせ塾12回、河川環境保全活動2回を実施した。また、町子ども会育成会連絡協議会や児童館、エコハウス、熱気球ふれあい実行委員会、なまず会、北小親父の会などへの支援(講師やボランティアのコーディネート、物品の貸し出し、情報収集や発信)をした。	カヌー教室事業は、五行川で練習会を行ったことや那珂川源流探検キャンプで清流を舞台に貴重な体験をしたことで、身近な環境に対する関心を高めることができた。特に五行川では、地元大谷地区の支援隊の協力を得ながら、河川の水質浄化活動をするまでに発展した。また、親子で体験する事業では、家族のコミュニケーションを図る場となった。さらに、集団での自然体験活動は「自然を大切に心を育む」だけでなく「協調性」や「思いやり」「礼儀」を学ぶ場となった。

活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
事業参加人数(単位:人)	3,200人	2,487人	同じような事業を整理、統合したため、全体の参加人数は目標値に達していない

事業費(計画)

細 節	金 額
1 報償金	400,000
2 消耗品費	80,810
3 食糧費	16,000
4 通信運搬費	28,000
5 委託料	400,000
6	
7	
8	
	924,810

事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 報償金	400,000
2 消耗品費	100,000
3 食糧費	17,000
4 通信運搬費	8,000
5 委託料	400,000
6	
7	
8	
	925,000

事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 報償金	244,000	計画していたワンパクキッズ事業を親子どろんこ道場事業と合わせた形で実施したため減額している
2 消耗品費	48,788	
3 食糧費	10,400	
4 通信運搬費	8,000	
5 委託料	397,600	カヌー教室(那珂川・中禅寺湖)体験沢あそび
6		
7		
8		
	708,788	

事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		925,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		925,000	
決 算	決算額		708,788	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計		0	0
	差引(一般財源)	924,810	708,788	